

校長先生の日記②⑨

10月 実りの秋 いい季節です！子どもたちの活躍が止まりません！



体育って楽しいね！

信州大学の渡辺敏明先生をお招きし、「小学校体育ジャーナル」が行われました。「体づくり運動」で楽しい運動遊びを体験しました。体を使ってジャンケンするのはよくやるのですが、渡辺先生がやるとなぜか子どもたちがとっても楽しそうにやります。その中に多様な動きが入っていたり、自分で考える場面もあったり、いっぱい褒めてもらえることもやる気につながっているのかもしれない。走り方を教わった5年生は、とっても走り方が美しくなってびっくりしました。

専門の先生に教わることは、子どもたちにとっても、教師にとっても刺激が多くて、とてもいいなと思いました。

今日の給食は「笹ずし」です！

10月5日の給食は「笹ずし」でした。笹に酢飯とシーチキンの甘辛いそぼろ、金糸卵、ショウガの酢漬けがのっています。そぼろの甘辛さと金糸卵のほんのりとした甘さが絶妙で酢飯が進みます。



大人は、ショウガがアクセントになって爽やかさ加わるとさらに酢飯が進みます。なんと3つペロリと食べてしまいました。この笹ずしは、給食センターの調理員さんの手作りです。本当にありがたいです。こういう手間のかかる日は、早くから調理を開始するため、早めに出勤してくださっているとのこと。

毎日残さず食べたいですね。



ヤングケアラーについて学びました

ヤングケアラーとは、家事や介護等家の仕事に従事し、本来の学生としての学習などの活動に支障が出ている状態のことを言います。本人は「家の手伝いだから普通」と思っていますが、勉強ができない、友だちと遊べないなど子どもたちに精神的なストレスがかかっています。これは本来の子どもたちの姿ではありません。アンテナを高くして、子どもたちの様子を見ていく必要性を感じました。

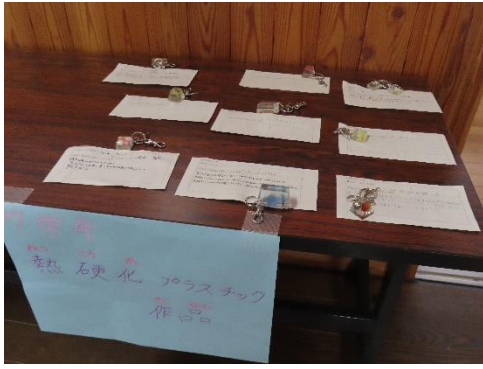
長野工業高校の清水史明先生の講話

8・9年生が進路講話として、長野工業高校の清水校長先生からお話をお聞きしました。8年生もいよいよ進路学習が始まり、高校調べなどを行っています。9年生にとっては、自分の進む道を決める大切な時期となっています。

職業高校のカリキュラムや実習の内容、とれる資格などについて、大変丁寧に分かりやすくお話いただきました。

多くの職場から求人がきて、就職する生徒と進学する生徒が半々くらいとのこと。職業高校に寄せる企業の期待の大きさを感しました。自分の夢や希望を考えながら、自分にとって必要な進路選択ができることを願います。







子どもたちの力作がずらり！どの作品も本当に丁寧に仕上げられています。新聞や学習のまとめなどは、すべてタブレットを使ってどんどん作る子どもたちです。レイアウトや写真など、工夫が凝らされていて、プロも顔負けといった感じです！



全校制作 ペットボトルのキャップを使って全校で制作しました。9年生が信濃町の特産品などを入れてデザインしてくれました。夏休みからペットボトルキャップを洗ったり、数をそろえたりして準備を進めてきました。1m80cm×7m30cmという大きな作品です。

総合体育館に飾ってもらえることが決定しました。ぜひ、見に行ってみてください！
迫力満点です！



手形のアートも飾られて、校内が明るくなりました。まさにみんなの手で創られている、信濃小中学校です。

校長先生のお話では、9年生への感謝、コロナではあったけれど、たくましく成長してくれていた全校のみなさんそれを支えてくださった保護者、地域の方、先生方への感謝の気持ちを伝えました。

信濃小中学校の子どもたちのことを、長野県中、日本中、世界中、宇宙中に自慢したいよと伝えると、1年生から「ありがとう！」と声が上がりました。
なんて素敵な学校なんだろう。

この2日間で改めて、この学校にいられることの喜びと感謝の気持ちを実感することができました！

ご来校いただきました保護者、地域の方、みなさま
子どもたちを応援していただき、ありがとうございました。
これからも信濃小中学校をご支援いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、10月19日（木）も「学校づくりを考える日」として学校を開放します。
9：45～の2校時 10：45～の3校時 参観が可能です。
どうぞ、ご来校ください。